

第3章 函館市環境基本計画[第3次計画]の推進

1 推進体制の整備

環境関連施策は市の行政分野全般と関わりがあることから、計画を着実に推進して施策の実効性を高めるためには、庁内各部局間の連携による取組が必要です。

市では、1997(平成9)年8月に、長期的な環境保全施策を推進し、環境に配慮したまちづくりを進めるために、環境行政の諸課題についての協議・検討を行う場として、庁内に「地球にやさしいまちづくり協議会」、およびその下部組織としての「地球にやさしいまちづくり協議会幹事会」を設置し(表3-1)、環境基本条例の制定や環境基本計画の策定などについて協議してきました。

今後も、本組織により、各部連携のもと市の環境保全施策を一体的に推進します。

表3-1 地球にやさしいまちづくり協議会および幹事会構成員

部 局 名	協 議 会 委 員	幹 事 会 委 員
	副市長	
企画部	企画部長	企画管理課長
総務部	総務部長	総務課長
財務部	財務部長	管理課長
市民部	市民部長	市民・男女共同参画課長
保健福祉部	保健福祉部長	管理課長
子ども未来部	子ども未来部長	子ども企画課長
環境部	環境部長	環境部次長(幹事長) 環境総務課長 環境政策課長 環境推進課長 新廃棄物処理システム担当課長 環境対策課長 清掃事業課長 日乃出クリーンセンター所長 施設整備担当課長 埋立処分場長
経済部	経済部長	経済企画課長
観光部	観光部長	観光総務課長
農林水産部	農林水産部長	企画調整課長
土木部	土木部長	管理課長
都市建設部	都市建設部長	まちづくり景観課長
港湾空港部	港湾空港部長	管理課長
戸井支所	戸井支所長	地域振興課長
恵山支所	恵山支所長	地域振興課長
楸法華支所	楸法華支所長	地域振興課長
南茅部支所	南茅部支所長	地域振興課長
教育委員会	生涯学習部長	管理課長
企業局	管理部長	総務課長

2 環境目標および環境基準の状況

函館市環境基本計画[第3次計画]では、環境目標や環境基準の項目に関して最新値の把握や定期的な市民アンケート調査を実施し、点検・評価を行うこととしています。

2024(令和6)年度の状況は表3-2のとおりです。

表3-2 環境目標および環境基準の状況一覧

基本目標	基本施策	環境目標・環境基準項目	2024年度 (令和6年度)実績	目標値(令和12年度) ・環境基準値
地球環境の保全	地球温暖化対策	省エネルギーに取り組んでいる人 ※2	90.7%	100%
		温室効果ガス排出量	△27.5% (令和4年度)	2013(平成25)年度比 46%削減 (地球温暖化対策実行 計画(区域施策編))
循環型社会の形成	3Rの推進	1人1日当たりのごみ排出量	1,077 g	1,093 g 以下
		リサイクル率	14.6%	20%以上
		最終処分量	17,835 t	14,966 t 以下
	廃棄物の適正処理	ごみの分別を心がけている人 ※2	99.2%	100%
		不法投棄処理件数	55件	230件
	プラスチックごみ対策	使い捨てプラスチック製品の使用を控えている人 ※2	86.7%	80%
マイバッグ持参率 ※2		90.7%	80%	
プラスチック容器包装組成分析適合割合		90.51%	100%	
自然との共生社会の実現	生物多様性の保全	自然環境の満足度 ※2	80.4%	90%
		生物多様性の保全に関心のある人 ※2	76.9%	50%
	水や緑の活用・ふれあいの推進	水辺の満足度 ※2	51.5%	80%
		公園や広場の満足度 ※2	67.5%	80%
		都市公園の面積	605.15ha	604.37ha
	良好な景観形成の推進	快適な町並みと感じる人 ※2	59.0%	80%
ごみのポイ捨てをしなくて持ち帰っている人 ※2		98.8%	100%	
生活環境の保全	大気・水環境の保全	空気の満足度 ※2	89.2%	90%
		二酸化窒素濃度 ※1	0.024ppm	0.06ppm 以下
		浮遊粒子状物質 ※1	0.024mg/m ³	0.10mg/m ³ 以下
		微小粒子状物質 ※1	年平均値 6.9μg/m ³	年平均値 15μg/m ³
			日平均98%値 18.0μg/m ³	かつ日平均98%値 35μg/m ³ 以下
		松倉川 BOD ※1	1.0mg/L	河口3mg/L 以下
	函館海域 COD ※1	2.3mg/L	A類型2mg/L 以下	
	音環境の保全	音の満足度 ※2	79.7%	80%
		自動車交通騒音 (環境基準値達成率(面的評価))	100%	97.7%
	化学物質などへの対応	大気のコロネリド濃度 ※1	0.044pg-TEQ/m ³	0.6pg-TEQ/m ³ 以下
水質のコロネリド濃度 ※1		0.045pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L 以下	
水底の底質のコロネリド濃度 ※1		0.99pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g 以下	
土壌のコロネリド濃度 ※1		0.10pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g 以下	
総合的な取組の推進	地域づくり人づくり	環境問題に関心のある人 ※2	89.7%	80%
		環境に関する出前講座の参加者数	1,096人	800人
	環境情報の充実と共有	環境情報・広報への満足度 ※2	81.0%	80%
		函館市環境基本計画を知っている人 ※2	12.7%	50%

※1 環境基準項目 ※2 2024(令和6)年度アンケート調査の結果

目標値の達成状況については、「不法投棄処理件数」、「使い捨てプラスチック製品の使用を控えている人」、「マイバッグ持参率」、「生物多様性の保全に関心のある人」、「都市公園の面積」、「環境問題に関心のある人」、「環境に関する出前講座の参加者数」、「環境情報・広報への満足度」の8項目は達成しましたが、他の項目は未達となっており、なかでも「水辺の満足度」、「快適な町並みとを感じる人」、「函館市環境基本計画を知っている人」は目標値と20ポイント以上の開きがありました。

また、環境基準の達成状況については、「函館海域 COD」の1項目が未達でしたが、他の項目は達成しています。

3 環境基本計画の進行管理

環境基本計画関連事業として市が取り組んでいる事業については、関連部局で構成する「地球にやさしいまちづくり協議会」において事業状況の取りまとめと協議を図りながら進行管理を行っています。

なお、主な施策と関連事業の実施状況(2024(令和6)年度)および実施予定(2025(令和7)年度)は表3-5のとおりとなっています。

また、本白書を「函館市環境審議会」に報告し、審議会の検討を踏まえながら計画の推進を図っています。

審議会の過去10年間の開催状況は表3-3のとおりです。

表3-4に審議会の委員名簿を掲載しました。

表 3-3 函館市環境審議会開催状況

年度	開催日	回	協議検討事項等
平成27年度	H27. 9. 24	第1回	・函館市環境白書 ・公害防止条例施行規則の規制基準等の改正に関する取り扱いについて
平成28年度	H28. 10. 12	第1回	・函館市環境白書
平成29年度	H29. 10. 10 H29. 11. 1	第1回 第2回	・函館市環境白書 ・函館市公害防止条例の見直しについて
平成30年度	H30. 10. 31 H31. 3. 19	第1回 第2回	・函館市環境白書 ・函館市公害防止条例における規制基準の制定改廃について ・新たな函館市環境基本計画策定のための基礎調査報告書について 他2件
令和元年度	R元. 8. 28 R元. 11. 29	第1回 第2回	・函館市環境白書 ・函館市環境基本計画[第3次計画] (案) について
令和2年度	R2. 11. 4	第1回	・函館市環境白書
令和3年度	R3. 11. 26	第1回	・函館市環境白書
令和4年度	R4. 10. 25 R4. 12. 20	第1回 第2回	・第2次函館市地球温暖対策実行計画(区域施策編)案について ・函館市環境白書
令和5年度	R6. 1. 25	第1回	・函館市環境白書
令和6年度	R6. 10. 31	第1回	・函館市環境白書

表3-4 函館市環境審議会委員名簿(2025(令和7)年4月1日現在:敬称略)

区 分	氏 名	役 職 等
1 学識経験のある者	三 浦 汀 介	北海道大学 名誉教授
	笠 井 亮 秀	北海道大学大学院水産科学研究院 教授
	秋 田 晋 吾	北海道大学大学院水産科学研究院 助教
	三 上 修	北海道教育大学函館校 教授
	若 松 裕 之	函館大学 教授
	石 樽 康 雄	公立はこだて未来大学 教授
	小 玉 齊 明	函館工業高等専門学校 准教授
	越 智 聖 志	函館工業高等専門学校 准教授
	澤 辺 桃 子	函館短期大学 学長 教授
	目 黒 さおり	北海道建築士会函館支部 理事
	兼 平 史	函館弁護士会 会員
	池 田 誠	北海道地球温暖化防止活動推進員
	2 関係行政機関の職員	大 我 一 憲
徳 田 佐和子		北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場道南支場 支場長
清 水 洋 平		北海道立総合研究機構水産研究本部函館水産試験場 場長
3 その他市長が必要と認める者	竹 内 正 幸	函館商工会議所 事務局長
	佐々木 浩 之	函館市漁業協同組合 専務理事
	佐 藤 均	函館市亀田農業協同組合 代表理事組合長
	佐 藤 俊 司	函館東商工会 副会長
	西 村 洋 子	函館市町会連合会 女性部副部長
	佐々木 香	函館市女性会議 会長
	藤 島 齊	南北海道自然保護協会 理事長
	清 藤 千鶴子	公 募
	田 村 房 江	公 募
	石 塚 康 治	公 募

第3章 函館市環境基本計画[第3次計画]の推進

基本 目標	基本 施策	個別 施策	施策の内容	関連事業名など	年度		担当部
					R6	R7	
		3	良好な景観形成の推進				
		①	地域特性を生かした町並みづくり				
			● 歴史的建造物・景観の保全	歴史的建造物保全調査事業 伝統的建造物群保存地区保存事業 西部地区都市景観形成地域保全事業 歴史的建造物活用事業 指定建造物等取得に係る利子補給 景観協定補助、景観形成市民団体補助事業 景観アドバイザーによるアドバイス制度 特別史跡五稜郭跡環境整備事業 函館開発建設部施工用地内埋蔵文化財発掘調査 景観計画に基づく景観誘導 街路灯設置費等補助金	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	都市建設部 都市建設部 都市建設部 都市建設部 都市建設部 都市建設部 都市建設部 教育委員会 教育委員会 都市建設部 市民部
			● 自然景観の保全				
			● 夜景の保全				
		②	環境美化の推進				
			● ポイ捨て防止の強化	全市一斉清掃日の設定（春、秋のクリーン作戦） ボランティア清掃への支援	○ ○	○ ○	環境部 環境部
			● 安定した除排雪の推進	除排雪体制の確保 小型除雪機の貸与 スノーボランティアの活用 除雪管理システムの試験運用の実施	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	土木部 土木部 土木部 土木部
			● 空家・空地対策	空家等除去支援補助金 空家等改修支援補助金 需要と供給のマッチング（空家の利活用の推進） 草刈り条例による衛生管理の確保	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	都市建設部 都市建設部 都市建設部 保健福祉部
		4	生活環境の保全				
		1	大気・水環境の保全				
		①	大気環境の保全				
			● 大気環境のモニタリング	一般環境大気測定局（3局）におけるモニタリング 自動車排出ガス（1局）におけるモニタリング	○ ○	○ ○	環境部 環境部
			● 事業活動による大気汚染の防止	大気汚染防止法などに基づく立入検査 産業活性化資金（大気汚染）	○ ○	○ ○	環境部 経済部
			● 自動車・交通対策	ロードヒーティング整備事業 街路整備事業 道路改築事業 各種道路整備に合わせた歩道設置等 良好な歩行空間の創出の推進 街路の広場場化や歩行滞在空間の整備 幹線道路の整備の推進 道路ネットワーク機能の確保の推進 条例の遵守（違法駐車防止対策の推進）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	土木部 土木部 土木部 土木部 土木部 土木部 土木部ほか 土木部 市民部
		②	水環境の保全				
			● 水環境のモニタリング	12河川におけるモニタリング 2海域におけるモニタリング 地下水の概況調査および定期モニタリング 沿岸漁場環境調査 水質試験機器の整備	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	環境部 環境部 環境部 農林水産部 企業局
			● 生活排水への対策	公共下水道の整備 水洗便所改造等資金貸付 合併処理浄化槽設置補助 小学生による上下水道施設見学会の実施 下水道普及促進活動（下水道の日）	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	企業局 企業局 環境部 企業局
			● 事業活動による水質汚濁の防止	水質汚濁防止法に基づく立入検査 産業活性化資金（水質汚濁）	○ ○	○ ○	環境部 経済部

